

【手話とは】

ろう者がコミュニケーションをとったり物事を考えたりするときには使うことばで、手指の動きや表情などを使って概念や意思を視覚的に表現する視覚言語であり、ろう者の母語です。

【ろう者とは】

耳がきこえない人々のうち、手話という母語を持ち、手話でコミュニケーションをとって、日常生活を送る人々のことです。

【接し方】

- ◆ あなたが、きこえない・きこえにくい人の前に立って、口をやや大きく開いて簡単な単語を短く1小節ごとに区切って、ゆっくり、わかりやすく話してください。
- ◆ きこえない・きこえにくい人には、後ろや横から話しかけないで、正面から話してください。



日常で使う簡単な手話の例

あいさつ



両手の人差し指を伸ばし向かい合わせる。



伸ばした人差し指を曲げながら自身も軽く会釈する。

世界共通の手話



アイラブユー

よろしくお願いします (良い+お願い)



鼻の前に、にぎったこぶしを前に出す。



顔前で右手を斜めに構えて少し前へ出し、同時に頭を下げる。



おはようございます (朝+あいさつ)

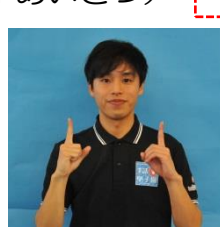
枕を下ろすイメージで



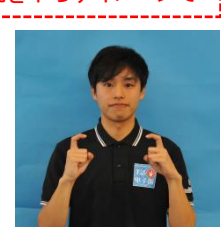
右手を「ゲー」の形にしてこめかみにつける。



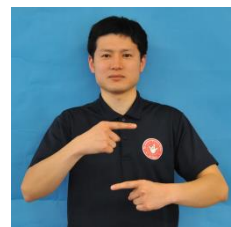
「ゲー」の手をこめかみから下げる。



人と人が向き合っておじぎをしている動作。

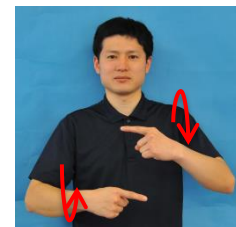


手話



両手の人差し指をのばし、体の前で上下に位置させる。

※人差し指の位置は左右どちらが上でも構わない。



両手を体の前で、2~3回回転させる。

ごめんなさい



右手の親指と人差し指の指先を眉間にあて、他の指は曲げる。



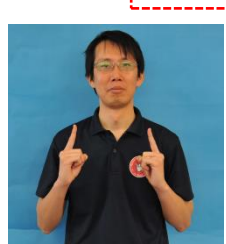
顔前で右手を斜めに構えて少し前へ出し、同時に頭を下げる。

こんにちは (昼+あいさつ)

時計の針が正午を示すイメージで



人差し指と中指だけを伸ばし、額につける。



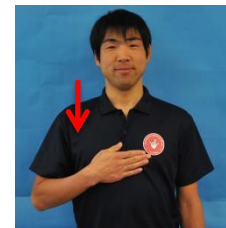
人と人が向き合っておじぎをしている動作。



わかりました

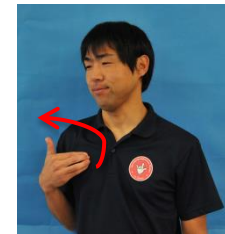


右手の手のひらを胸に当てる。



右手の手のひらで胸をなで下ろす。

わかりません



右手の手のひらを上にして肩(右胸脇)のあたりを払い上げる。「わかりません」という気持ちをこめた表情も加える。



こんばんは (夜+あいさつ)

あたりが暗くなるイメージで



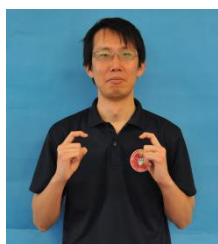
両方の手のひらを相手の方に向ける。



顔の前で手のひらを交差させる。



人と人が向き合っておじぎをしている動作。



ありがとう

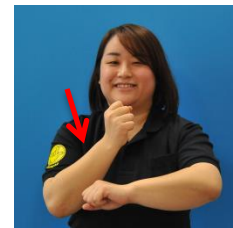


左手の甲を上にして、右手を垂直に左手の上にする。

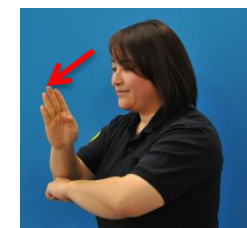


左手は動かさず、右手を上げながら会釈する。

おつかれさま



右手拳の小指側で左腕を2回たたく。



顔前で右手を斜めに構えて少し前へ出し、同時に頭を下げる。

指文字(相手指文字編)

あ アルファベットの[a]	い アルファベットの[i]	う アルファベットの[u]	え アルファベットの[e]	お アルファベットの[o]
か アルファベットの[k]	き きつねの「き」	く 手話の数詞の「九」	け アルファベットの「B」	こ カタカナの「コ」の一部
さ アルファベットの[s]	し 手話の数詞の「七」	す カタカナの「ス」	せ 「兄(せ)」の敬称「背の君」	そ 「それ」の「そ」
た アルファベットの[t]	ち カタカナの「チ」	つ カタカナの「ツ」	て 手そのものを表す	と 「あなたと私」の「と」
な アルファベットの[n]	に カタカナの「ニ」	ぬ 「ぬすむ」の「ぬ」	ね 木の根の「ね」	の カタカナの「ノ」

指文字(自分指文字編)

あ アルファベットの[a]	い アルファベットの[i]	う アルファベットの[u]	え アルファベットの[e]	お アルファベットの[o]
か アルファベットの[k]	き きつねの「き」	く 手話の数詞の「九」	け アルファベットの「B」	こ カタカナの「コ」の一部
さ アルファベットの[s]	し 手話の数詞の「七」	す カタカナの「ス」	せ 「兄(せ)」の敬称「背の君」	そ 「それ」の「そ」
た アルファベットの[t]	ち カタカナの「チ」	つ カタカナの「ツ」	て 手そのものを表す	と 「あなたと私」の「と」
な アルファベットの[n]	に カタカナの「ニ」	ぬ 「ぬすむ」の「ぬ」	ね 木の根の「ね」	の カタカナの「ノ」

は アルファベットの[h]	ひ 手話の数詞の「1」	ふ カタカナの「フ」	へ カタカナの「ヘ」	ほ 「舟の帆」を形象する
ま アルファベットの[m]	み 手話の数詞の「三」	む 手話の数詞の「六」	め 「目」を形象する	も 手話の「同じ」を示す
や アルファベットの「Y」	ゆ 「湯気」を形象する	よ 手話の数詞の「四」		
ら アルファベットの[r]	り カタカナの「リ」	る カタカナの「ル」	れ カタカナの「レ」	ろ カタカナの「ロ」
わ アルファベットの[w]	を 後ろへ引く	ん カタカナの「ン」	ゝ 横に移動する (例「ぶ」)	っ 上に移動する (例「ぼ」)
や 後ろへ引く	ゆ 後ろへ引く	よ 後ろへ引く	っ 後ろへ引く	一 「一」を空書する

は アルファベットの[h]	ひ 手話の数詞の「1」	ふ カタカナの「フ」	へ カタカナの「ヘ」	ほ 「舟の帆」を形象する
ま アルファベットの[m]	み 手話の数詞の「三」	む 手話の数詞の「六」	め 「目」を形象する	も 手話の「同じ」を示す
や アルファベットの「Y」	ゆ 「湯気」を形象する	よ 手話の数詞の「四」		
ら アルファベットの[r]	り カタカナの「リ」	る カタカナの「ル」	れ カタカナの「レ」	ろ カタカナの「ロ」
わ アルファベットの[w]	を 手前へ引く	ん カタカナの「ン」	ゝ 横に移動する (例「ぶ」)	っ 上に移動する (例「ぼ」)
や 手前へ引く	ゆ 手前へ引く	よ 手前へ引く	っ 手前へ引く	一 「一」を空書する